

平成30年度学校自己評価システムシート (埼玉県立南稜高等学校)

目指す学校像	明るく伸びやかな校風のもと、主体的に学ぶとともに、豊かな心と国際感覚を育み、希望する進路を実現する学校を目指します。
--------	--

重点目標	1 自発的な学習習慣の確立と、豊かな学びを実現する教育課程の改善 2 学校行事や部活動などを通じて自律的、主体的に行動できる生徒の育成 3 キャリア教育の推進と、生徒一人一人の希望する進路の実現 4 家庭・地域との幅広いネットワーク作りと、学校からの情報発信体制の充実
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	9名
	生徒	5名
	事務局(教職員)	4名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (2月1日現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> 授業満足度、授業への取組は良好な状態で、自主的学習時間は微増傾向にあるが、0時間の生徒が約4割いる。自発的に学ぶ習慣の確立と隙間時間の活用が課題である。また、新学習指導要領が告示され平成34年度からの年次進行に向けて、新たな教育課程案を作成する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に学ぶ意欲を育成する。 	① 授業後の復習(振り返り)の重要性を指導する。 ② 隙間時間の活用を指導する。	① 自主的学習時間のうち、復習(振り返り)に取組む生徒の割合50%以上 ② 隙間時間の活用度35%以上(昨年度32.9%)	隙間時間の活用や復習の大切さは指導しているが、まだ生徒の主体的な学びが十分とは言えない。 ① 復習取組割合 41.3%(平日) 40.5%(休日) ② 隙間時間活用割合 37.3%	B	<ul style="list-style-type: none"> 学習する意義を理解させ、隙間時間を有効に活用して主体的な学習に取り組んでいくよう指導していく。
		<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領に基づく教育課程案を作成する。 	① 教育課程委員会及び各教科での意見交換を積み上げる。 ② 他校の取組を研究する。	① 教育課程委員会及び各教科で十分意見交換されたか ② 他校の取組を参考にできたか	12月の職員会議で2年次の文理共通が決定した。現在、教育課程委員会での履修学年や単位数を検討中である。 ① 各学年、教科で意見交換を重ねている。 ② 他校の履修単位数と授業時間を調査研究している。	A	<ul style="list-style-type: none"> 専門科目や学校設定科目の開設については、次年度の課題とする。
2	<ul style="list-style-type: none"> 大部分の生徒は、落ち着いた学校生活を過ごし、学校行事や部活に懸命に取り組んでいる。しかし、ごく一部に身だしなみが不十分な生徒がいる。また、自転車事故の防止も課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 全教職員で指導する体制を確立し、身だしなみと交通安全の指導を行う。 	① 生徒指導に関する共通理解のもと、指導に当たる。 ② 保護者による登校指導を行う。	① 共通理解のもと全教職員で、身だしなみ指導を行えたか ② 登校指導に保護者の方も参加していただけか	職員会議等で生徒指導主任が、全教職員での指導の必要性を説いている。生徒指導は充実してきたが、教職員により指導に差がある。 ① 校外における正しい制服着用意識の割合 90.6% ② 10月にPTA役員が登校指導に参加していただけた。	B	<ul style="list-style-type: none"> 全教職員で共通理解に立ち一層充実させるとともに、校外においても正しい制服着用を指導する。また、登校指導では役員以外の保護者へも協力を呼びかける。
			① 学年に応じたキャリア教育を実施して、進路意識を高める。 ② 新たな外部講師による講演会を開催する。	① 生徒の進路意識を高めることができたか ② 生徒の満足度90%	進路説明会や講演会などに関するキャリア教育を計画どおり実施した。 ① 進路意識高まり 59.6% ② 外部講師による講演会の満足度 95.9%	A	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育講演会の開催時期、対象学年を精査するとともに、総合的な探究の時間との関連性を踏まえる。また、進路説明会や講演会への保護者参加については早い時期に周知する。
3	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育は計画通り講演会を開催し、進路意識を高めた。進路実績は年々向上しているが、より一層、保護者の理解と協力を得て、生徒の第1志望の進路実現につなげることが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育を推進する。 	① ニーズに応じたセミナー(講習)を充実する。 ② 生徒対象の進路説明会に保護者の参加を呼びかける。	① セミナー(講習)に関する生徒の満足度80%以上 ② 参加した保護者の満足度80%以上	第1志望の進路を実現させるため、セミナーの開講条件を緩和し、長期休業中のセミナーは前年度比23増の42講座を開講した。 ① 参加者の満足度 75.7% ② 参加保護者少数のため不明	B	<ul style="list-style-type: none"> 都内大学が合格者数を削減している中、生徒の学力向上と受験に臨む指導を強化する。また、保護者へ進路情報の提供と奨学金制度の周知に取り組む。
		<ul style="list-style-type: none"> 第1志望の進路を実現させる。 	① 企画委員会で広報を担当する組織を検討する。 ② 保護者会でメール配信システムの広報に取り組む。 ③ 保護者が求める情報を発信する。	① 広報を担当する組織ができたか ② メール配信の保護者満足度が80%以上	企画委員会で2回協議し、広報に関する担当組織を整えた。 ① 5月に委員会を立ち上げた。	A	<ul style="list-style-type: none"> 今後、ホームページ更新に当たって学年や分掌の協力を得ながら、組織の活動を充実させる。
4	<ul style="list-style-type: none"> ホームページは随時更新して情報発信しているが、広報の校内組織を整え、時機を得たメール配信をすることが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 広報を担当する組織を整える。 	① 保護者会でメール配信システムの広報に取り組む。 ② 保護者が求める情報を発信する。	① 保護者登録数の割合80%以上 ② メール配信の保護者満足度が80%以上	天候不順時の緊急対応以外に、諸会費の口座引落としや講演会の案内等、幅広くメールを配信した。 ① 保護者登録割合 76.9% ② メール配信満足度 57.4%	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒・保護者に必要な情報をPTAと連携して情報を発信していく。
		<ul style="list-style-type: none"> メール配信を充実させる。 	① ホームページで随時更新して情報発信しているが、広報の校内組織を整え、時機を得たメール配信をすることが課題である。 ② ホームページのトップページを分かりやすく工夫してほしい。 ③ 中学生が魅力に思えるホームページ作りをしてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> メールの配信内容は、PTAと協力して取り組むと良いのではないかと。 ② 修学旅行等の現況報告や不審者情報等を提供することも検討してほしい。 			

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	平成31年2月12日	
学校関係者からの意見・要望・評価等		
<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話でゲームをする時間が長い。学習動画を視聴させ、自主的な学習へつなげてほしい。 中高連携して主体的な学びに取り組み、課題解決能力を育成させたい。 英語のコミュニケーション能力を高めてほしい。 		
<ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味・関心を高め、学びたいと思う授業となるよう工夫してほしい。 授業の中で、生徒間での学び合いと振り返りの時間を取ったかどうか。 少人数や習熟度別の授業を実施してほしい。 		
<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみ指導や交通安全指導は、引き続き粘り強く指導してほしい。 交通安全指導は、保護者にも協力を求めたらどうか。 携帯電話については、もう少し厳しいルールを作っても良いのではないかと。 		
<ul style="list-style-type: none"> 生徒の自己管理能力を高めるために、手帳を活用させてはどうか。 キャリア教育講演会は生徒の進路意識を高めてはいるが、一過性に終わってはいないか。 キャリア教育講演会の教育効果を持続させ、進路実現につなげてほしい。 		
<ul style="list-style-type: none"> セミナーの開講数が増えて有難い。 部活動単位で早朝や待ち時間などを活用して、生徒間で学び合えたら良いのではないかと。 活躍している卒業生を招いて、生徒の進路意識を喚起してほしい。 		
<ul style="list-style-type: none"> ホームページのトップページを分かりやすく工夫してほしい。 中学生が魅力に思えるホームページ作りをしてほしい。 		
<ul style="list-style-type: none"> メールの配信内容は、PTAと協力して取り組むと良いのではないかと。 修学旅行等の現況報告や不審者情報等を提供することも検討してほしい。 		